

Capo. 3

(F)

スタンバイ

D G Em G Em A

^Dこの頃は秋が^G短くなり^D

^G冷たい風が吹いたなら^{Em}もうそこは冬^{A D}

^D半袖のシャツを^G置きざりにして^D

^Gしもうことも忘れた^Dクローゼットの中^{Em A D A}

^{Bm}ここにはもうない、^G緑の日の輝き^{Em A}

^{Bm}知らぬ間に^G落ち葉も^{Em}全てなくなった^{A D}

ノーマル

枯れたように見える枝の中

小さな膨らみを見つけ心が落ち着く

心配事ひとつでもなくなり

胸を撫でて下ろすこと増えたらいいね

新しいライフが始まること信じて

何もなくてもこうして待ってられる

生きること待機のリピート

今よりいい日が来ることを祈って

Capo. 6
Capo. 1 → C

(C#)

歌うお兄さん

G F# C D

G 好きだったのは F# C
じこが甘いD
ソフトな歌声G F# C
うせも少なく語りかけるD F#
優しさにあふれていたF# P C D
若かったのに 空の屋にたつてF# D C D
辛かっただろう 笑顔がけ残して

1-MAIL

明るい顔で手を振って 心地よい歌声

その姿しか知らないヤロ

いつも元気をもらった

好きだったのに いなくなて

苦しかったろう 突然の病に

もう一度生まれかわり 現れてほしい

その日に来るまで 過ごしてゆくから

Capo. 2

(Bm)

断崖

★ ^{An}断崖下の浪打ち際、^G続く日本海見下ろす^{An}

訪れる人も少ない、^G穏やかで、^{An}晴れた日なのに
☆☆

^{An}誰もいなかた^{Dm}市振駅^Gから^C

^{An}昔の面影^{Dm}残した^G町を^C過ぎて

幻子抱いた伝説の人か

歩いたはずの海岸線が見える

^C慕う^{Dm}人に^G会える^Cためなら

^Cこしなと^{Dm}ろでも^G歩いて^Cゆける

先うものがあまりに大き...

通る前にはわからなかつたのだらう

1-マレ

* 人との闘いの名残も愛のおとの遊歩道で

歴史物語る自然の奥深さに足も止める**

歩くための道ではなくて

通過するだけの国道と高専

新幹線も通ることない

昔の人は想像さえなかつたらう

今の時代に生きてたならは

悲しい思いいなくて済んだらう

後ろ髪を引かれよう

ほのかに光る波枕を見つめる

Capo. 3

(F)

爽秋の候

D F G A D D G A D A

D G A D D G A D A
雨ばかり続くこの頃 又しぶりの青空は

D G A D D G A D A
海のような色して まさに「爽秋の候」だ

D G A D D G A D A
街並みを写し出すと 西国の国のような

D G A D D G A D A
まるでプロの画像に驚いてメールする

B_n G A B_n
都会のビルのテラスの緑も

B_n G A B_n
空の眩しさにリフレクティブに輝いて

B_n G A B_n
面倒ばかりの仕事も今日はやめ

B_n G A B_n
どこかの芝生で 横にならした

D G A D D G A D A
まさに手紙を書きたくなるような

D G A D D G A D A
昔の人の気持ちもわかる

オープンD (DADF#AD)

拝啓 爽秋の候 秋めいてまいりました

みなりの秋 皆様のご活躍を祈ります

季節の変わり目の寒くなるこの頃は

体調を気遣う言葉 忘れずに入れましょう

辞書の代わりに ネットをググって

筆ペン手にして いまなり書き殴る

指を動かして 数秒の文章も

間違えるたびに 初めから書き直す

まさに手紙の難しいところ

もらって人のありがたさわかる

Capo. 5

滑走路

(F)

C Am Dm G C

C 白い滑走路の端^{Dm}には^GC 飛ぶ前の飛行機^{Dm}が^GいるC 午後の柔らかな^{Dm}陽をうけ^GC これからどこ^{Dm}に行くの^CだろうDm C Dm G C
最後の別れ^{Dm}には^C 無口^{Dm}に^Gなっ^CDm C Dm G C
ふたりに^{Dm} 同じ^C 光景^{Dm}を^G 見た^C の^G 思い^C 出^C

1-MAIL

C Am Dm G C Am Dm G C

C 屋上^{Dm}のベンチ^GにはC あの日のような^{Dm}風^Gが吹くC フェンスの隙間^{Dm}にレンズ^G出しC ストップ^{Dm}撮^Cってる人も^CいるDm C Dm G C
「それでは」の言葉^{Dm}が^C なくて^{Dm} 別れた^G けれど^CDm C Dm G C
でも「またね」^{Dm} とい^C 言^{Dm} った^G 二度^C と^G 別^C れ^C らぬ人

Capo. 4 (1-2-3)

Capo. 1 (1-2-3-D)

(G#m)

さあこれからだ

Em Am7 D7 G Em Am7 B7 Em
(~~Em~~ open Dm)

ひと冬越した日に バット蓋の餌の上で

今朝乃 羽化した蝶が 綺麗な羽を広げる

Am7 Gmaj7 (~~Em~~ open Dm)

去年の秋はパセリだけ

C Bm Am B7
このように食べて大きくなって

それからしばらく動かずに

半年が過ぎたこの日を迎える

Em Am
さあこれからが 乾いた羽でD G B7
飛いたつ前の姿Em Am
シャッターを押した瞬間にD G
あつとこの瞬間に 空に消えた

1-2-3-D (DADFD)

ほとしどが 地味な毎日 同じこと繰り返す日々に

小さな楽しみを見つけ 少しずつ積み重ねることに

自分でいいと思うこと やつと見つけて始めたばかり

大きなことになっていい できることからやってみようか

さあこれからだ 前だけ見つけて納得できるまで

いつの日か思い出して後悔することないように

B7

これからだ 迷うことはない

今日からのことだけを

この手につかしてゆきたい

振り返ることないように